

## 「クオリア AGORA」開催のご案内

グローバル化の速い潮流の中で、イノベーションの担い手が、大企業からオープンなイノベーターのネットワーク統合体に変容したにもかかわらず、日本社会は古い産業モデルを踏襲し続けています。しかも 21 世紀に入ってリスク挑戦力を見失い、研究・開発で創造してきた多くの新技術を経済的価値に変えることに失敗した結果、日本の産業競争力は急落の一途をたどりました。追い打ちをかけるように、2011 年 3 月に起きた東京電力福島第一原発事故は、企業と国家の「技術経営力の不在」を一気に露呈させました。つまり、日本の周回遅れと原発事故の本質は、じつは同根なのです。

そのような閉塞的状况をブレイクスルーするには、科学・技術と社会とを共鳴させて課題を解決する新しい学問の構築が必要です。それを如何にして実現することができるのでしょうか。

第 1 に、科学の本質をだれもが理解するということです。つまり、社会学者・人文科学者が科学にもっと寄り添って科学の本質を理解し、科学者と「共鳴」して事の本質に迫る、という「ほんとうの意味での文理融合」を成し遂げねばなりません。

第 2 に、科学・技術と宗教・哲学との内的なかかわりを明らかにすることを通じて「人と社会の幸福」を研究することです。ヨーロッパで科学が誕生した時、その誕生プロセスは、宗教と哲学が本質的に深くかかわっていました。ところが日本人は、科学を宗教や哲学とは切り離して導入し、その結果、科学万能論があらわれるにいたりました。しかし、科学と宗教とはじつは不可分なのであって、それを理解してはじめて、私たちは新しい学問に行き着くことができます。

第 3 に、この新しい学問は、「グランドデザイン構築」を目標とするということです。重箱の隅はつつけるが、全体のグランドデザインを描き出す構想力を、日本人は鍛錬してきませんでした。だから今こそ、ある社会課題が突如立ち現われた時に、「知の越境」を縦横無尽にしながらさまざまな分野の知恵をつかって課題を解決する新しい試みが必要なのです。

そのような試みの一つとして、このたび「クオリア AGORA」を開催することといたしました。ここでは、産業や政治、教育など社会の多様な分野の「新たな関係」の構築を、自然科学や人文科学・社会科学などの垣根を越えて建設的に行ない、理論と経験を往復させながら科学・技術と人間・社会との関係について理解します。この試みが、科学技術を人間の感性に根ざした知識と結合させた新しい学問体系を創りだし、新時代の価値創造に繋がる第 1 歩になればと願います。

(株)京都クオリア研究所  
代表 篠原 総一

【クオリア AGORA】

**テーマ:「不透明な時代を切り拓く～科学・技術と人間・社会との新たな関係を創る」**

- 主催 (株) 京都クオリア研究所
- 共催 (財) 京都高度技術研究所
- 後援(予定) 京都府 京都市 (社)京都経済同友会 京都リサーチパーク(株)  
(公財)京都産業21
- 協力 京都大学 同志社大学 ITEC
- 開催概要

- (1)開催日時：平成24年5月～平成25年3月 毎月最終木曜日 全11回  
(11月のみ第4木曜日) 16時30分～20時00分
- 16時30分～ スピーチ  
17時10分～ ディスカッションによる討論  
18時10分～ 休憩  
18時20分～ ワールドカフェ(※) (食事をとりながら)  
20時00分～ 閉会

※ワールドカフェとは

アニータ・ブラウン氏とデイビッド・アイザックス氏によって、1995年に開発・提唱された対話の手法。1) テーブルごとにホストを中心に5名着席してグループにする。他にもいくつかグループをつくる。2) 提示された共通のテーマについて各テーブルで話し合う。3) 30分ほど話し合い、1人をホストとして残し、4人は別々のテーブルへ移動する。4) ホストがそれまでの内容を新たな4人に伝え、新たな5人でまた話し合う。5) グループ内や全体で話し合った内容を共有し、まとめる。

- (2)会場：(財) 京都高度技術研究所 10F プレゼンテーションルーム 他

(3)プログラム

■第1回 5月31日(木)

「福島原発事故はなぜ起きたのかー技術経営の底知れぬ愚かさ」

スピーカー：山口 栄一(同志社大学ITEC副センター長

同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)

■第2回 6月28日(木)

「地球温暖化ーCO2主犯説を斬る」

スピーカー：飯尾 俊二(東京工業大学原子炉工学研究所准教授)

■第3回 7月26日(木)

「地震の本質は何かー地球内部を診る」(仮)

スピーカー：谷本 俊郎(カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)

■第4回以降は、下記のテーマで現在調整中

第4回(8/30)、第5回(9/27)……“食べる”

第6回(10/25)、第7回(11/22)……“住まう”

第8回(12/27)、第9回(1/31)……“働く、生きる”

第10回(2/28)、第11回(3/28)……“複雑系とクオリア”

(4) ディスカッション予定者(アルファベット順)

堀場 雅夫(榊堀場製作所最高顧問)

中西 寛(京都大学大学院法学研究科教授)

篠原 総一(同志社大学教授)

高田 公理(佛教大学教授)

西村 吉雄(東京工業大学監事 元日経エレクトロニクス編集長)

山極 寿一(京都大学大学院理学研究科教授)

山口 栄一(同志社大学 ITEC 副センター長) 他

(5) 定員 各回 50 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

(6) 参加費 全回受講者：企業 100,000 円 (税込)

研究者及び一般 60,000 円 (税込)

学生及び大学院生 30,000 円 (税込)

各回受講者：企業 10,000 円 (税込)

研究者及び一般 6,000 円 (税込)

学生及び大学院生 3,000 円 (税込)

※会費にはワールドカフェの食事代が含まれています。

(7) 申込締切

全回参加者の締切：5月28日(月)

各回参加者の締切：開催日の前の週の金曜日、6日前となります。

(8) お問い合わせ

■ (株) 京都クオリア研究所 (担当 長谷川)

TEL&FAX : 075-213-1463

E-mail : [k.hasegawa@gaia.eonet.ne.jp](mailto:k.hasegawa@gaia.eonet.ne.jp)

■ (財) 京都高度技術研究所 (担当 更田)

TEL : 075-315-6725 FAX : 075-315-6634

E-mail : [office@mot.astem.or.jp](mailto:office@mot.astem.or.jp)

FAX送信(075-213-1463)  
第1回「クオリアAGORA」参加申込書

※締切日 5月28日(月)

お名前	
組織名	
部署・役職	
E-mail	
電話番号	
FAX番号	

※学生の方は、「組織名」に「大学名」を、「部署・役職」に「学部・学科・学年」をご記入ください。

※一般の方は、「組織名」及び「部署・役職」は記入しないで下さい。